

# 不器用でまじめ、曲がった事が嫌いでも事にもまっすぐな杉。融通の利かない素材だからこそ、多くの人々に愛される。

最終選考会当日は、あいにくの雨模様。開催前日まで不安定な天気予報に会場の調整や、設営業者への連絡等に追われた。自然の対応でこれほど走り回るとは予想していなかった。また、前回に引き続き岩手県野田村からのお客様も杉コレクションに参加していただく事になった。

天候には恵まれないものの、山下新天街のアーケードとサンロード栄町に設置された各種の催しや展示、販売店舗には多くの人々が集まり、岩手県野田村からの物産は宮崎には珍しい品が並び人気を集めていた。

杉コレクションは実行委員会のメンバーが形作るのではない。作品の応募者、製作担当者、出店業者、協力団体、県や市の担当者など、「杉」を通じて官民が一体となり一つのイベントになっている。

また、県外よりこの日のために集まっていた、そうそうたる審査員陣は実に多くのエネルギーが集結するのはとても珍しい事である。そのため県外からこのイベントに参加される熱狂的ファンもかなり多い。杉はけっして優等な素材ではない。都市部

では花粉症の原因として嫌われ、加工性の良さの反面軽さや柔らかさや傷つきやすさが建築の世界では敬遠される。

宮崎の木青会メンバーや作品の製作担当者と触れ合った方々は感じていると思われるが、宮崎の木材業界のひとは、杉に似てまじめで優しく融通の利かないひとが多い。杉の木はまっすぐで柔らかくすぐに傷つき、柔軟に対応する事が苦手な材料。宮崎人もなんとなくそんな人が多いような気がする。

杉の木も、宮崎人も、温暖な気候の中で太陽に照らされ、豊かに肥えた土壌の恵みを生分に与えられて育つ。だからこそ、いろいろなことを受け入れる柔らかさと穏やかさがある。

宮崎県はスギの素材生産において、平成3

年より連続で国内トップを守っている。

宮崎県の豊かな自然に育まれる杉の材積量は年間400万m<sup>3</sup>を超えており、単純に増えた材積を立方メートルあたり単価1万円円で計算すると実に400億円もの資源が自然に育っていることになる。その多くは、未来の子どもたちに豊かな恵みを、と願いを込め、先人たちが私たちに託した資源である。杉コレは、そういった先人たちの思いを明日へつなぐという役割もある。

イベントに参加した人々、訪ねてくれる近隣の方々も、展示された作品に触れ、その他の展示物や販売商品を眺めながら、「地元杉は本当にいい」と実感する。でも杉を育てている人から一般の人々への距離はまだまだ遠い。この距離を少しでも近づけるためこのようなイベントは続ける必要がある。



## 杉コレクション2013 in 延岡を終えて



宮崎県木材青年会連合会 会長

工藤 建樹

振り返ると、私が初めて杉コレに関わりを持ったのは2011年度日向市開催から。この時点では2013年度延岡開催というイ

メージはあったものの、杉コレを主管することのあまりの大きさに、どこか他人事のような気がしてなりません。私のそんな浮ついた気持ちからか一時は延岡開催も危ぶまりましたが、諸先輩方からの後押しもいただき、何とか延岡開催テーマを「神話」「森話」作品募集テーマを「遊gwood!!! (ユーグッド)」「遊貝」としてスタートができました。

しかしながら始動が遅れたこともあり、例年の、公募、一次審査、二次審査、最終選考と運ぶところを、短縮を余儀なくされ、応募数やクオリティの部分で危惧していましたが、審査会場には県内外問わず多くの目を見張る応募作品が並び、審査時間も大きくこえてしまいました。最終選考会へ選び出された作品はどれも個性的でこれが会場に杉で造られ並ぶのかと思うだけで胸の高鳴りが止みませんでした。そして11月3日当日、心配していた天気は何とか持ちこたえ、会場には多くの方々のご来場を頂き無事開催することができました。

また、最終選考会には審査員長として内藤先生をはじめ、南雲先生、延岡市首藤市長、篠原先生、川上先生、内田洋行柏原社長、乾様、山崎様、県木利センター飯村所長、JR大分津高支社長、フェニックススリーガイアリゾート齋川部長、と例年を上回る錚々たる方々が、それぞれにお忙しい中ご参加いただきました。有難う御座いました。

最後になりますが、杉コレクション2013 in 延岡開催におきましてご協力ご支援頂きました関係諸官庁行政の方々、開催地商店街の方々、各団体や個人の方々、岩手からお越しいただいた方々、作品応募していただいた皆さん、そして宮崎県木青連の仲間、延岡木青会の仲間 本場に、本場に有難う御座いました。

## 杉コレクション2013 in 延岡を終えて



杉コレクション2013 実行委員長

今井 武久

今回で9回目となる「杉コレ」 in 延岡が、延岡市のサンロード栄町と山下新天街アーケードで

開催され、盛大に終わることが出来ました。

今年は、「遊gwood!!! (ユーグッド)」というテーマのもと、一般部門84点の模型と、子ども部門165点の応募総数約250点の応募がありました。その中から一般部門6点・子ども部門4点が選考され、実物大に製作し展示して最終選考会を開催しました。どの作品も独創的で楽しいものばかりで、テーマのとおり「遊gwood!!! (ユーグッド)」「遊貝」といった内容でした。発案者の発表や、審査員の先生方のやりとりがとても楽しかったです。

会場では、みんなが木とふれあい、木で遊び、木の大切さを学んでくれたのかなと感じています。また、延岡市は市制80周年という事で、「杉コレ」と同日開催した「駅まち市場音楽祭」を通して多くの市民に足を運んで頂き、延岡駅周辺の活性化に貢献出来たかと思えます。

しかし、当日は荒天も予想されたなか、前日に急遽レイアウト変更や予定変更などがあり、沢山の不備があったにも関わらず、設営・撤去等を木青会各会員の皆様のおかげでスムーズに運営することが出来ました。また、行政・商店街・ボランティアの皆さんの協力にも感謝致します。皆さんのおかげで、すばらしい杉コレが開催出来たことに、深く感謝申し上げます。

最後に、協賛協力をして頂いた企業と関係者の皆様へ、心より感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

